

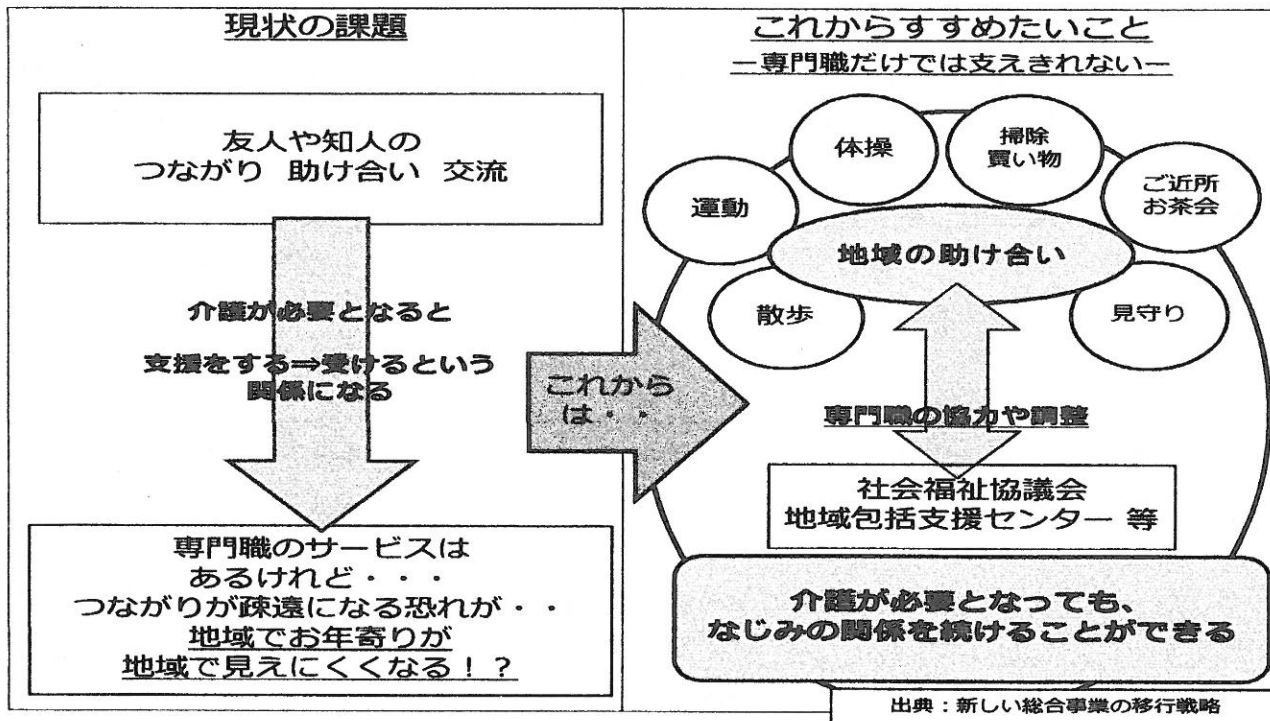
解説：総合事業とは

平成29年4月から、新しい「総合事業=介護予防・日常生活支援総合事業」がスタートしました。新しい「総合事業」の趣旨は、労働厚生省によると「市町村が中心となって(注：従来の国の介護保険制度から市町村の事業へ移行)、地域の実情に応じて、住民等の多様な主体(注：NPO・ボランティア・地域住民・民間企業等)が参画し、多様なサービスを充実することで、地域の支えあう体制づくりを推進し、要支援者等に対する効果的かつ効率的な支援等を可能にすることを旨とする」とされています。住民協が進めようとしている「ふれあいのまちを創る部会」と深い関係を持つ総合事業なので、高齢介護課に分かりやすく解説をして頂きました。

「総合事業は地域づくりです」

総合事業の目的は、介護予防と地域の生活支援の仕組みをつくることです。

皆さんと社会福祉協議会・地域包括支援センターが、地域の課題やできることを話し合いながら、地域の実情に応じた取り組みを、できることから行なっていきます。(総合事業に関することは広報ずし4月号にも掲載しています。)



久木小学校区住民自治協議会・広報誌

住民協ひろば

第2号 (準備会から通算第23号)
発行日 平成29年6月3日
発行所 逗子市久木2-1-1
久木小学校区住民自治協議会
発行人 田倉 由男

◆第1土曜開催の役員会を短縮し、半分の時間を部会の会合に充てることになりました。【原則 13:30~14:30 役員会, 14:30~15:30 部会会合】

◆5月20日現在の会員数は62名です。(組織代表:34名、個人会員:28名)

第1回住民協役員会

5月6日(土)、13:30~15:45分・久木会館で、21名(うち役員14名)が参加して、開催されました。

主とした審議内容は次の通りです。

① 住民協会員確定の件・・・当日までに入会申込書が出ている方々について確認を行いました

た。その後にあった入会申込者を含めて、5月20日現在の会員の状況を別項で報告します。

② 広報の件・・・月刊誌「住民協広場」と全戸配布広報誌の今後について討議しました。結果は「役員会からのお知らせ」の欄で。

③ 部会活動を支援する体制の件・・・部会が円滑に活動できるように役員会が果たす役割について討議しました。結果は「役員会からのお知らせ」の欄で。

役員会からのお知らせ

① 市が主催する逗子市地域福祉計画・地域福祉活動計画懇話会メンバーに、田倉由男様を推薦しました。

② 広報・月刊誌「住民協ひろば」について・・・6月度から従来の400部から550部程度に発行部数を増やし、全地域の自治会・町内会に行き渡らせること、自治会・町内会に所属し

ない住民の方々の目にも触れるよう地域活動センターのスタンドに置くようにします。

全戸配布広報誌について・・・東浩司様の協力を得ることになりました。

③ 部会活動を支援する体制について・・・毎月第1土曜日に開催している役員会を13:30~14:30の1時間に短縮し、後半の14:30~15:30分を各部会のミーティングに充てることにしました。

提言：民生委員児童委員の欠員問題

役員会で高津恵一様(ハイランド在住、逗子市民生委員児童委員協議会会長)から問題提起がありました。逗子市は神奈川県下で断トツに欠員

率が高く、県下平均が5%未満であるのに対して20%となっており憂慮すべき状況である。その理由の一つとして、欠員になった場合に速やかに後任候補者を推薦するような組織が自治会・町内会にできていないことがあげられる。

久小校区住民協の中にこの組織が作られることを希望する、という提言です。この提言に対して、民生委員は、多くは自治会単位の区域から選出されているから、地域の人

材を知っている自治会・町内会に、推薦する組織ができるのはよいことだが、広範囲の住民協に作るのは妥当なことかどうか議論がありました。(本項の関連記事を編集後記に記載)

29年度役員

次のメンバーで運営に当たります。

会長 田倉由男 山の根在住
副会長 小林寿志 久木在住
〃 大森啓亘 ハイランド在住
〃 龍村敦子 山の根在住
〃 高野安代 山の根在住
〃 森田宗一 山の根在住
理事 勝山吉久 久木在住

〃 山崎徳次郎 ハイランド在住
〃 松岡富春 久木在住
〃 山下隆文 山の根在住
〃 井上亮子 久木在勤
〃 森戸久朝 久木在住
事務局長 鈴木為之 山の根在住
書記 石井和夫 久木在住
会計 関恵梨子 久木在住
監査 上泉秀俊 久木在住
〃 仲西恒雄 山の根在住

会員状況(5月20日現在)

代表が参加している組織；

逗子ハイランド自治会、久木連合町内会、山の根親交会、山の根自治会、山の根会、久木小学校、久木中学校、久小PTA、久中PTA、久小学校支援地域本部、久中学校支援地域本部、聖和学院、双葉保育園、久小校区避難所準備会、地域防犯連絡所協議会
山の根ブロック、〃久木ブロック、
〃逗子ハイランドブロック、久木地区青少年育成推進の会、ずしっこあおぞら学童クラブ、久木子ども会連合会、久木体育会、

山の根体育会、ズシッパ連合会ハイランドブロック、〃山の根ブロック、〃久木ブロック、若宮会、まちなごそだち久木、サロン久木、名越里山虹の会、社会福祉協議会、西部民児協久木、〃ハイランド、中部民児協山の根、逗葉保護司会、久木商栄会、逗子ハイランド商店会、逗子清寿苑、メディカルホームグランド逗子、
以上の38組織。組織の重複代表を除いて34名(重複参加を加えれば38名)
個人での参加；28名
合計62名 (重複を加えれば66名)

住民協意見交換会から

4月22日、9：30～12：00、市役所5階会議室で、市主催で4校区の住民自治協議会関係者が集まって首題の会議が開催されました。参加者は、行政側から市長以下4住民協担当リーダーを含めて10名、住民協側から11名。主題は交付金に関する諸件で、活発な意見交換がされました。主な討議は、①30年度の選択事

業を提案する期限・・・原案の8月に対して10月15日までに変更、②交付金の使い勝手の悪さ、使いやすいように区分変更ができないか、共通事業とは何か等々・・・当方からは、交付金区分は今の3区分でよい。共通事業は全市共通で実施する事業に対するの交付だから、ここに行政として重点とする全市事業を明確に意思表示するのがよい、等提言しました。

地域包括支援センターから・・・連絡先電話；046-870-6980

毎月下旬に、久木会館で介護予防教室と高齢者よろず相談を開催していますのでご活用ください。

6月度は6月26日(月)13：30～15：00

出張販売と憩いの場 in 久木を開催
衣料・雑貨の販売(逗子銀座通り WIZ)
お菓子の販売(カモミール)
眼鏡の販売・調整(ひさぎ眼鏡)

地域便り

初夏の午後を女声合唱で
ディアーナ
第11回コンサート

ひと時をディアーナでお楽しみください。
7月1日(土)13：30開場 14：00開演
文化プラザなぎさホール 入場無料

指揮 小野茂子
ピアノ 津屋祥子
ゲスト ヴァイオリン 宮崎蓉子
チェンバロ 大村千秋
チェロ エマニュエル・ジラルール
問合せ先 池田 872-3666

編集後記

高津様(ハイランド在住、逗子市民生委員児童委員協議会会長)から、当市では民生委員児童委員(以下民生委員と略)が県下の他市町村に比べて異常に欠員率が高く憂慮すべき状態であるとのお話がありました。特に欠員率が高いのは、逗子地区でこの地区は同じく欠員となっている近隣の桜山1・2丁目を含めると、定員11名のうち3名しかいないので、欠員率は73%となっています。利便性が高く、住民の変動も多く多様化した都市中心部であるため、住民があまり民生委員の意義を感じてないのかもしれないし、或いは他に特別な事情があるのかもしれませんが、何故かということをよく調べて考察しておく必要があるでしょう。民生委員という制度は、古くからある制度ですが、今この古い器に新しい中身を盛ることが時代の要請ではないかと思えます。この制度が機能してないということは、放置できないことと

思います。民生委員は原則無報酬ですから、第1に大切なことはやりがいを感じることに、負担感とのバランスで負担感が大きくなっていけば、なり手が少なくなっていくと思います。地域社会の高齢化や、薄くなっていく人間関係或いは付随してくる雑務といったことを考えると、民生委員の仕事は、一人で或いは民生委員の仲間内で処置していくのは限界にきているのではないのでしょうか。本来地域の活動組織と連携していく性格をもった仕事ですから、今より更に地域全体でバックアップしていく仕事の進め方、或いは地域組織と一体となった活動に姿を変えて、それによって負担感を多少でも軽くして、「楽しくやりがいの勝る」活動に変えていくことが必要ではないかと思えます。このことが住民協の中で話し合う重要な事柄ではないかと思えます。